

水と緑の森づくり事業の実施状況について

○ 富山県水と緑の森づくり基金積立額	341 百万円
内訳	
水と緑の森づくり税込相当額	340 百万円
寄付金、運用益	1 百万円

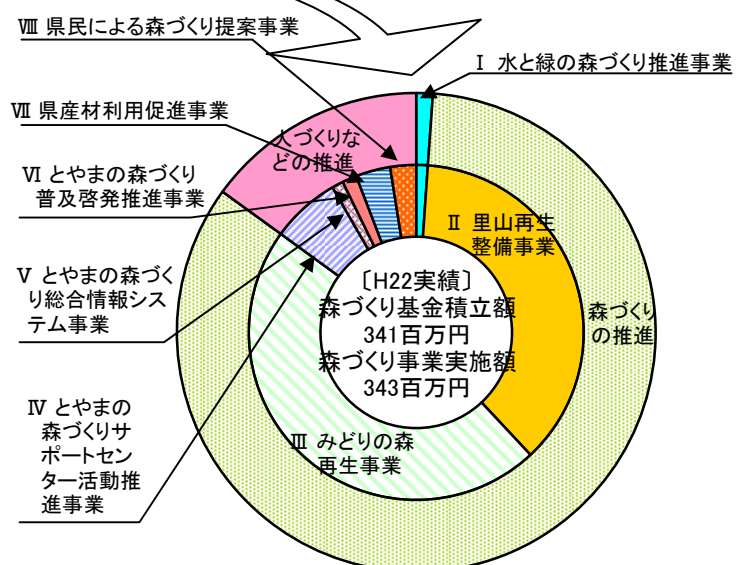
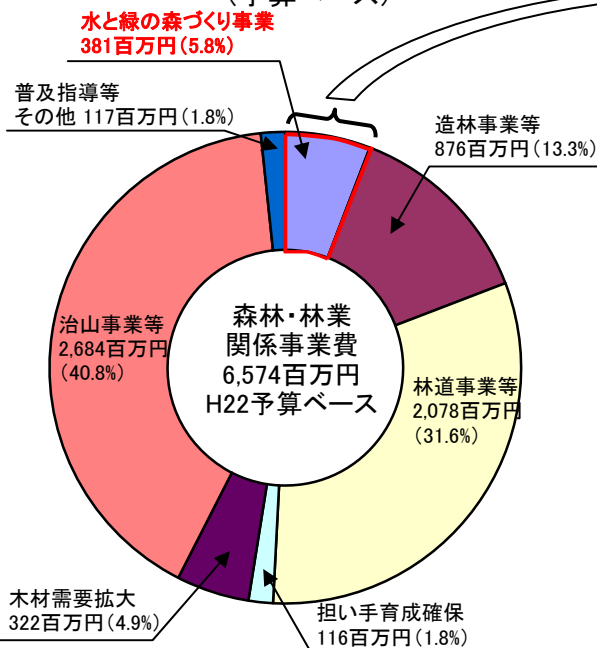
○ 水と緑の森づくり事業実施額	343 百万円
-----------------	---------

※百万円以下四捨五入により各事業の和と事業実施額は一致しない。

県民全体で支える森づくりの推進と森づくりの評価・改善	
I 水と緑の森づくり推進事業	3 百万円
水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進	
II 里山再生整備事業	128 百万円
III みどりの森再生事業	160 百万円
とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進	
IV とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業	23 百万円
V とやまの森づくり総合情報システム事業	4 百万円
VI とやまの森づくり普及啓発推進事業	4 百万円
VII 県産材利用促進事業	12 百万円
VIII 県民による森づくり提案事業	8 百万円

平成22年度富山県森林・林業関係事業費の内訳
(予算ベース)

平成22年度水と緑の森づくり事業費の内訳
(実績見込)



※事業費には森林整備・林業再生基金事業を含む

富山県森づくりプランにおける森づくり施策の目標と年度別実績等

○ 水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進

里山林の整備

年度	H⑲実績	H⑳実績	H㉑実績	H㉒実績	H㉓計画	H㉔目標
整備面積 (ha)	366	373	333	145	80	
延べ面積 (ha)	366	739	1,073	1,218	1,298	2,000

混交林の整備

整備面積 (ha)	61	74	132	212	220	
延べ面積 (ha)	61	135	268	480	700	2,000

○ とやまの森を支える人づくりなどの推進

県民参加による森づくりの年間参加延べ人数

年度	H⑲実績	H⑳実績	H㉑実績	H㉒見込	H㉔目標
年間参加延べ人数 (人)	6,920	10,033	10,999	10,000	7,000

I 水と緑の森づくり推進事業

○趣 旨

県民全体で支えるとやまの森づくりを推進し、森づくりの計画、実行の改善のための評価を実施します。

○平成22年度事業の実績

(1) 富山県水と緑の森づくり会議の開催

森づくり全般について、県内の各界の代表者等から幅広く意見を伺いました。

第1回 平成22年4月19日

- 議題
- ・ H21年度事業実施状況、H22年度事業の取組みについて
 - ・ 県民による森づくり提案事業(県民実践活動事業)の審査
 - ・ 水と緑の森づくり表彰について
 - ・ H24年度以降に向けた取組みについて

第2回 平成22年12月2日

- 議題
- ・ H21年度事業の評価結果、H22年度事業の実施状況について
 - ・ 県民による森づくり提案事業(アイデア提案)の審査
 - ・ 水と緑の森づくりに関する県民意識調査の結果について
 - ・ 後期森づくりプランの検討の方向性について

(2) 富山県森林審議会森づくり部会の開催

水と緑の森づくり事業について、専門的・技術的立場から評価をいただきました。

平成22年6月17日

- 内容
- ・ H21年度の事業評価の実施
 - ・ H22年度の事業概要の報告
 - ・ H24年度以降に向けた取組みについて

(3) 森づくりの広報

水と緑の森づくりの取組みについて、広く県民の皆さんに広報を行いました。

- | | | |
|-------------|---------------------------|----------|
| 7月4日 | 地産地消県民交流フェアに出展(富山市・環水公園) | |
| 10月2,22,30日 | 県政番組の放送(KNB、BBT) | |
| 10月1 箇月間 | ローソンに「とやまの森づくり」パンフレットを掲示 | |
| 10月30,31日 | とやま環境フェアに出展(高岡市・イオンモール高岡) | |
| 10月2日 | 森づくりタウンミーティングの開催(富山市) | |
| 11月7日 | | // (高岡市) |
| 12月18日 | | // (魚津市) |

ローソンでのパンフレット掲示



森づくりの実施状況などを紹介するパンフレットを作成し、県産材ラックに入れて掲

とやま環境フェアに出展



パネル展示、県産材遊具体験、森の寺子屋を実施し、森づくりを広くPR

タウンミーティングを開催



知事から森づくりの実施状況について説明

(4) 県民参加の森づくりフェア

4年目を迎えた森づくり活動の理解と参加を更に進め、県民参加の森づくりを加速化するため、森林ボランティア団体等の表彰と、「水と緑の森づくり事業」に取り組んでいる団体が参加する、見て触れて、体験し、交流する「県民参加の森づくりフェア」を新たに開催しました。

5月28日（射水市・太閤山ランド）

内容

- ・水と緑の森づくり表彰

優良な活動を行っている森林ボランティア団体、企業を表彰（5団体）

受賞団体名	代表者名	所在地
ぞうきばやし 雑木囃子	石崎 千鶴子	砺波市
とやま森林サポーターの会	稲垣 寛	富山市
NPO法人南砺の山々を守る実行委員会	桃野 忠義	南砺市
北陸功・コ-グループ「うるおいの森づくり」有志の会	岡田 裕之	高岡市
森づくりボランティア「 ^{てんばやしもり} かい 天林森の会」	長谷川 貢	立山町

- ・見る・触れる

- ①パネル展示による「水と緑の森づくり事業」の取り組み状況の紹介
- ②チェーンソーやチップパー機など林・センターの貸出用機器の実物展示 等

- ・体験する

- ①県産材積み木や木育推進のための県産材遊具体験コーナーの設置
- ②森の寺子屋の開催

- ・交流する

- ①水と緑の森づくり表彰受賞者と知事との森づくりトーク（活動事例発表、意見交換等）
- ②森林ボランティア団体等によるパネル展示

県民参加の森づくりフェア実施状況



水と緑の森づくり表彰



貸出用機器の実物展示



県産材遊具の体験



森づくりトーク

(5) 水と緑の森づくりに関する県民意識調査（緊急雇用創出基金活用）

これからの森づくりについて、「水と緑の森づくり税」のあり方も含め検討するため、県民意識調査を実施しました。

調査対象 県民 2,500人 企業経営者 1,000人

調査手法 無作為抽出、郵送返送方式

調査期間 県 民：平成22年11月6日～15日（10日間）

企業経営者：平成22年12月1日～10日（10日間）

最終取りまとめ 平成23年1月28日

Ⅱ 里山再生整備事業

○趣 旨

地域や生活に密着した里山を再生するため、里山の再生整備を県民協働で実施するとともに、カシノナガキクイムシ被害木の除去や竹資源の利用や竹林の整備を進めます。

○平成22年度事業の実績

(1) 市町村による里山再生整備の実施

野生動物との棲み分けや景観の保全などを旨として、里山管理利用計画に基づく里山整備や地域住民による整備活動の支援などを行いました。

【平成22年度実績】

事業実施地区	97地区（13市町）
対象面積	846ha
事業主体	市町村

実施例：黒部市下立地区



うっそうとして、見通しの悪い里山は、クマなどの野生動物の生息域の拡大にもつながる



野生動物との棲み分けを目指し、見通し良く整備



見通しが良く、明るい里山を保つため、地区住民が、刈払いや林内整理を実施

(2) カシノナガキクイムシ被害木の除去の実施

カシノナガキクイムシの被害により立ち枯れ状態にある木の除去を行い、防災および景観の保全を図りました。

【平成22年度実績】

事業実施地区	37地区（14市町）
除去量	2,630m ³
事業主体	市町村



道路沿線にある枯損木を除去しました。

(3) 里山活用促進事業

竹林の適切な管理をすすめるため、里山再生整備事業を実施している地域住民等に竹林の管理や新たな利用方法の体験を行いました。

【平成22年度実績】

- ・かぐや姫の里デビュー講座の開催（6月5日 75名参加）
穂先タケノコなど新たな利用方法の指導
- ・とやまの竹資源ネットワークの活動（3月末現在 94団体参加）
竹材回収車（かぐやの竹舟号）の運行案内、調整（氷見市、高岡市、砺波市）
- ・かぐや姫の里の集いの開催（10月30日 159名参加）
竹林の管理技術、竹材の利用方法を指導
- ・とやまの竹資源ネットワーク講習会の開催（2月26日 113名参加）
竹資源の利用を図る講習や穂先タケノコの調理実習・試食等

事業主体 県



「とやまの竹資源ネットワーク講習会」では、講習と併せ、穂先タケノコの調理実習と試食会を行い、「色々な料理が出来るとは知らなかった。おいしかった」、「早速、地域に戻って、料理教室を開催し広めたい。」との感想がありました。



「かぐや姫の里の集い」では、地域の方々と森林ボランティアや企業の森づくりの皆さんと一緒に、竹林管理技術、利用方法などを体験しました。

一水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進一
Ⅲ みどりの森再生事業

○趣 旨

人工林の公益的機能の向上を図るため、風雪被害林や過密人工林などを、スギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を実施するとともに、県産の広葉樹苗を県民の協力を得て育成します。

○平成22年度事業の実績

(1) 風雪被害林・過密人工林の整理の実施

混交林化を促進するための伐採・整理を行うとともに、広葉樹を植栽しました。

【平成22年度実績】

整備面積	・風雪被害林整理	38.7ha
	・過密人工林整理	173.6ha
事業主体	県	

実施例：南砺市砂子谷 地内（過密人工林整理）



手入れ不足により幹折れが発生したスギ人工林



枯死した木や生長の悪い木を伐採・整理



広葉樹が侵入・生長し、混交林化しつつある

(2) 県産広葉樹苗の育成等

県民の皆さんにドングリの「里親」となっていただき、森づくりに必要な苗木を育て、風雪被害林整理跡地に植栽するとともに、森林ボランティア団体等に配付し、森づくり活動に使用しています。

9月18日開催の「とやまの森づくりボランティアの集い」（立山町野沢地内）では、森林ボランティア団体への苗木の贈呈式も実施しました。

【平成22年度実績】

育成本数	コナラ、クヌギ、クリなど 30,000本
事業主体	県（とやまの森づくりサポートセンターに委託）



県産広葉樹苗贈呈式
 「とやまの森づくりボランティアの集い」



みどりの森再生事業地での植栽だけでなく、森林ボランティアや企業による森づくり活動、里山事業実施地区などにおいても県産広葉樹苗を活用



IVとやまの森づくりサポートセンター活動推進事業

○趣 旨

県民参加による森づくりを推進するため、森林ボランティア等を総合的・専門的に支援します。

○平成22年度事業の実績

(1) 登録団体数等（平成23年3月末現在）

一般登録 : 75団体 3,933人
企業登録 : 43企業

(2) ボランティアの活動支援の実施

- ・ヘルメットや草刈り鎌、ナタ、鋸、伐採木竹を処理するチップパーなどの機材の貸出し
- ・登録ボランティア団体への活動経費（設立・定着支援）や保険料の支援
- ・ボランティアの森林作業技術等の向上のため「森づくり塾」を開催
自らプログラムの実施や企画・運営できるチーフの養成 など

(3) 体験ボランティアやボランティアのネットワーク化支援の実施

- ・森づくりボランティアの集いや交流会の開催
- ・飛越源流の森づくりへの参加
- ・ボランティア交流サロンの管理 など

(4) PR活動の実施

- ・登録団体が活動時に掲げる「のぼり旗」や「バッジ」の配布
- ・サポートセンターや企業の森づくりのPRパンフレットの配布
- ・登録団体やサポートセンターの活動をPRするパネルの展示 など



伐採木竹を処理するチップパーを貸し出しました。



「森づくり塾」では機械の操作実習や安全講習などを実施しました。



県民参加の森づくりの啓発やボランティア交流を深める「とやまの森づくりボランティアの集い」を開催しました。



森林所有者との協定の締結など、ボランティア団体や企業の森づくり活動を積極的に支援しました。

—とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進—

V とやまの森づくり総合情報システム事業

〇趣 旨

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、とやまの森の現状や森づくり活動に関する情報を県民の皆さんに提供します。

〇平成22年度事業の実績

(1) 森林GISシステムの運用

平成19年度に整備した「森林GISシステム」により、森林情報の分析や里山再生整備事業などの実施区域を整理し、水と緑の森づくり事業の評価・公表に活用しています。

(2) とやまの森づくりホームページの公開

「とやまの森づくりホームページ」を公開し、森林GISシステムを用いて作成した、とやまの森に関する情報図や、水と緑の森づくり事業の情報をリアルタイムに紹介しています。

URL <http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/index.html>

(平成23年3月31日現在アクセス数 29,230 件)

とやまの森づくりホームページ

《トップページ》



《事業実施状況の情報（里山再生整備事業地）》

位置図

航空写真

平面図

計画概要図

実施状況写真

森林の整備状況

県民参加の森づくり(歩道整備・下草刈り)

整備後の状況(カタクリの開花:H21.4)

整備森林の活用状況(森の寺子屋森林教室)

特記事項
 (整備の方針)
 ・林内の灌木・低木類のほか、小径級木を中心に40%程度の整備伐を実施する。
 (事業の実績)
 ・森林の整備後、地域住民とボランティアの協働による森づくり活動が実施され、交流が図られた。
 また、今春のカタクリの開花面積が倍化し、市内外各地から当地を訪れる人々が多数見受けられた。

水と緑の森づくり事業の実施状況などについての情報発信を行っています。

Ⅵ とやまの森づくり普及啓発推進事業

○趣 旨

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、出前講座や森林教室を開催します。

○平成22年度事業の実績

(1) 「森の寺子屋」の開催

児童・生徒をはじめ、広く一般県民の森づくりに関する理解を深めるために、出前講座や森林教室を「森の寺子屋」として開催しています。

【平成22年度実績】

開催回数 88回

内訳 (出前講座 56回 (参加人数 2,850人))
(森林教室 32回 (参加人数 3,225人))

(2) フォレストリーダーのスキルアップ

「森の寺子屋」の指導者となるフォレストリーダーのスキルアップを図るための研修会を実施しました。

【平成22年度実績】

スキルアップ研修の開催 1回 (平成23年3月5日)

「森の寺子屋」実施状況



「とやま森の教本」を活用して、とやまの森の働き等を解説しています。



広葉樹の小枝を加工して製作する小枝のボールペンづくりの指導をしています。



きのこの植菌を指導しています。



森林内を散策しながら、樹木の名前や働きを解説しています。

ーとやまの森づくりを支える人づくりなどの推進ー

Ⅶ 県産材利用促進事業

○趣 旨

とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、県産材を使った木製品の設置や公共施設等の木質化を進めます。

○平成22年度事業の実績

(1) 県有施設木質化事業

県民サロンと県議会議事堂において、県産コナラ材の家具を設置しました。

- ・県民サロン：椅子、テーブル各5基
- ・県議会議事堂：テーブル1基、ベンチ2基、棚1基

(2) 県産材こどもの城づくり事業

園児のデザインによる木製遊具を親子の協力により製作・設置するとともに、親子による森の見学会を開催しました。

- ・実施施設数 2施設（同朋幼稚園、新湊中部保育園）

(3) 森に親しむ学び舎づくり事業

- ・小、中学校の学童・生徒用机天板を県産材製天板に置換えました。

【実施学校数 7校（魚津市1校、高岡市2校、氷見市2校、入善町2校）】

- ・県産材を活用した特別支援学級用の机、椅子について製品開発します。

(4) とやま木育推進事業

「木育」推進のために県産材遊具のデザイン募集を行い、優秀作品について実際に遊具の製作を行いました。また、これらを県内児童福祉施設やイベント会場でモニター設置しました。今後、これらの県産材遊具の貸出を行います。



県産材こどもの城づくり事業
（射水市 新湊中部保育園）



とやま木育推進事業
（グランドプラザ）



森に親しむ学び舎づくり事業
（県産材製天板導入・魚津市）



県有施設木質化事業
（県民サロンに県産材家具を設置）

—とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進—
Ⅷ 県民による森づくり提案事業

○趣 旨

県民参加の森づくりを進めるため、県民の皆さんが企画し、実践する森づくり事業への支援を行ないます。
また、水と緑の森づくり税を活用した事業のアイデアを募集し、水と緑の森づくり事業への反映を検討します。

○平成22年度事業の実績

(1) 県民実践活動事業

県内で活動する団体・グループから事業提案を募集し、第1回富山県水と緑の森づくり会議（平成22年4月19日開催）で審査のうえ、支援を行ないました。

【平成22年度実績】

・ 応募件数27件 実施件数25件



スギ林や広葉樹林を整備し、地元の小学生を招いて森林教室を開催して、間伐材の搬出体験などを行いました。また、搬出した間伐材を活用して木工教室を開き、ベンチなどを製作しました。（東山見森林振興会）



「木いちご探検隊」と題し、学校林を守っている地域の方々とPTAと一緒に、子供たちが一人一人カメラを持って学校林の探検に行きました。（上市町立南加積小学校PTA）

(2) 県民からのアイデア提案

県民から事業のアイデアを募集し、第2回富山県水と緑の森づくり会議（平成22年12月2日開催）で審査のうえ、事業などへの反映を検討しました。

【応募状況等】

・ 応募件数 4件